

令和元年度地方創生推進交付金事業評価書

担当課:商工課, 茨城県

1 事業概要

事業名	地方創生人材還流・定着支援事業			
総合戦略における位置付け	基本目標	I 生き生きと働けるしごとを創る III 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する		
事業目的	<p>茨城県では、20歳代前半などの若年者の転出超過が人口減少の主要因となっており、県外学生のUIJターンや地元学生の地元就職に積極的に取り組むことが大変重要になっている。</p> <p>水戸市においても、東日本大震災や社会経済情勢等の影響を背景として、市内事業所数及び従業員数が減少しており、地域経済に持続的かつ安定的な経済波及効果を生み出していくためにも、企業の経営力の強化とあわせた雇用の維持、さらには、新たな雇用の創出に一体的に取り組む必要がある。</p> <p>地域の持続的な発展を図っていくため、県との連携により、人口流出に歯止めをかけるとともに、人材還流を促すことにより、地域産業の活性化はもとより、産業を支える人材の確保、さらには、県内へのUIJターンと移住の促進につなげていく。</p>			
事業期間	2017(平成29)年度～2019(令和元)年度			
事業費(千円)	総事業費	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	2019(令和元)年度
交付金対象	21,660	4,558	6,428	10,674
交付金(交付率50%)	10,830	2,279	3,214	5,337
事業内容	<p><b>【事業概要】</b> 茨城県による県内への人材のUIJターンと地元就職の促進に向けた取組とともに、水戸市による既存企業の産業競争力・経営力の強化とあわせた雇用の維持・創出の取組を一体的に推進する。</p> <p><b>【具体的事業】</b> ① 頑張る水戸の企業・求職者応援事業 産業活性化コーディネーターを配置し、市内企業の経営力の強化、雇用の創出に向けた指導及び助言を行うとともに、国の予算・取組等に関する説明会の開催などによる情報提供を実施した。また、中小企業を対象に、人材確保に関する手法等を学ぶ採用力向上セミナーを開催した。 ② UIJターン促進事業 「水戸市企業ガイドブック」について、掲載企業数を増やし、3号目となる2020年版を作成した。ガイドブックについては、県内の高校・大学に加え、県と連携し、首都圏の大学における就職説明会や企業見学バスツアー等で配布を行ったほか、市ホームページで電子版を公開し、県ホームページと相互にリンクさせ、市内企業の情報を広く発信した。</p>			
2020(令和2)年度以降の取組内容	<p>当初の予定通り補助事業は終了したが、産業活性化コーディネーターによる企業の支援活動及び企業ガイドブックの発行、採用力向上に資するセミナーの開催について、県等の関係機関と連携を図りながら、引き続き実施することにより、企業の経営力の強化・改善及び情報発信を支援し、雇用の創出・人材確保につなげていく。</p>			

## 2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

### (1)KPIの達成状況

KPI項目		基準値 2015(平成27)年度	目標値 2019(令和元)年度	実績値 2019(令和元)年度
1	UIJターン促進事業による県外大学等卒業者の本県企業等への就職内定者(人/年)	81	180	92
2	県内大学卒業者の県内企業等への就職割合(%)	38.8	46.0	36.0
達成率平均値 (実績値-基準値)/(目標値-基準値)				-14%

### (2)評価

達成度	評価
D	<p>産業活性化コーディネーターを増員配置し、より多くの企業への支援活動により、国等の補助金を活用した設備投資や販路拡大につながるなど、企業の競争力・経営力の強化を図ることができた。また、中小企業を対象に、採用力向上に資するセミナーを2回開催し、延べ36社43名の参加があった。</p> <p>企業ガイドブックについては、掲載企業数を増やして発行し、県内の高校や県内外の大学等に配布した。市ホームページへの掲載のほか、マスコミを活用して広く周知を図り、市民からの入手希望や企業からの掲載希望があるなど、好評を得ている。</p> <p>また、ガイドブック掲載企業に対して実施した新規採用者数に関するアンケートの結果は、新規採用者数が239人(33社合計)となり、前年に比べ減少したことから、さらなる取組を検討する必要があると考える。</p> <p>首都圏大学生を対象とした企業見学バスツアーを実施し、参加者の中からインターンシップ受入れにつながる結果となった。</p> <p>しかしながら、実績値は目標値に達しなかったことから、今後とも、継続して市内企業の競争力・経営力の強化を支援し、さらなる雇用の創出を図るとともに、学生等に対して、市内企業に関する情報発信を効果的に行い、UIJターンの促進に取り組んでいく必要がある。</p>

※達成度は、国の評価基準を踏まえ、達成率平均値に基づき設定

- A: 地方創生に非常に効果があった(100%以上)
- B: 地方創生に相当程度効果があった(70%~100%未満)
- C: 地方創生に効果があった(50%~70%未満)
- D: 地方創生にあまり効果が見られなかった(50%未満)

### (3)今後の取組

方針	主な取組
当初予定通り事業を終了した	当初の予定通り補助事業は終了したが、産業活性化コーディネーターによる企業の支援活動及び企業ガイドブックの発行、採用力向上に資するセミナーの開催について、県等の関係機関と連携を図りながら、引き続き実施することにより、企業の競争力・改善及び情報発信を支援し、雇用の創出・人材確保につなげていく。

※方針は、国の評価基準を踏まえ設定

- ・事業が効果的であったことから、取組の追加等更に発展させる
- ・事業内容の見直し(改善)を行う
- ・事業を継続する
- ・継続的な事業実施を予定していたが中止した
- ・当初予定通り事業を終了した